

報道各位

株式会社エフエム東京

---

---

## TOKYO FM、Digital Signage Japan 2011 にて マルチメディア放送によるサイネージコンテンツ配信の展示を実施

---

---

株式会社エフエム東京(東京都千代田区、代表取締役社長: 富木田道臣、以下「TOKYO FM」)は、6月8日(水)～10日(金)、幕張メッセにて開催される「Digital Signage Japan 2011」(小間番号 5W17)において、「放送波・IPDC が起こすデジタルサイネージ革命 マルチメディア放送によるコンテンツ配信」というテーマで、マルチメディア放送波を利用したデジタルサイネージコンテンツ配信の展示を実施いたします。

展示内容は以下の通りです。

- ① 「バスサイネージ」  
※西鉄バス内に設置したデジタルサイネージのコンテンツ更新を放送波を利用して行った実験の展示
- ② 「船舶パーソナルサイネージ」  
※JR 九州高速船ビートル船内で貸し出しを行っているパーソナルサイネージへの放送波を利用したコンテンツ配信実験の展示
- ③ クワトロメディア(株)による「ブロードタクト」  
※バスサイネージ端末に対してのコンテンツ更新にデータ放送用 CMS「ブロードタクト」の外部データ連携機能を活用し、ニュースや緊急情報などの配信デモンストレーション
- ④ マルチメディア放送を活用した屋外大型デジタルサイネージ  
※観光案内をメインコンテンツとした観光地向け大型デジタルサイネージのデモンストレーション

TOKYO FM は、今後も福岡ユビキタス特区での V-LOW マルチメディア放送の先行実験で培った技術と経験を活かし、放送波を利用した様々なサービス開発を行っていきます。

■バスサイネージ実験(福岡・天神周辺走行中)



路線バス車内前方に設置したデジタルサイネージ端末のコンテンツを、放送波で最新のものに更新。コンテンツは IPDC 方式で送信し、バスの走行中にデータを受信し更新するもの。

■船舶パーソナルサイネージ(実機)



JR 高速船ビートル船内で貸し出す7インチ型のパーソナルサイネージ(フォトフレーム)。博多停泊中にマルチメディア放送の電波を使って、コンテンツを最新のものに更新するもの。コンテンツは IPDC 方式で送信される。